

No. 9-1

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 09 - 1

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与		9		作成日		26年 6月 17日		
事務事業名		戦没者追悼式						シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	6 語らいのあるまち						課名	地域福祉課	係名	社会福祉係	
		6-3 人権を尊重するまちをつくる									シート作成者	
	施策	6-3-1 人権尊重社会の形成						予算費目	会計		一般	
									款		3	
主要施策	① 人権教育・啓発の推進						項		1			
							目		1			
個別計画名		住民団体										
		行政との共催事業										
		イベント										
住民との関わり		住民団体・行政との共催事業・イベント										
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）							
	戦没者遺族会員及び平和を祈願する者				大戦における戦没者及び戦災者の追悼及び平和に対する意識の高揚を図る。							
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）				先の大戦における町内戦没者並びに戦災に起因して亡くなられた全ての方に対して哀悼の誠を捧げ、その冥福と平和を祈願する。							
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input checked="" type="checkbox"/> 12年度		～		平成 年度（ 年間）		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
根拠法令・要綱等												
		平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B		925			925			935				
財源内訳	国庫支出金		0			0			0			
	県支出金		0			0			0			
	地方債		0			0			0			
	その他特定財源		0			0			0			
	一般財源		331			331			341			
直接事業費（千円）A		331			331			341				
人件費（千円）B		594			594			594				
内訳	一般職員（人・千円）		0.09 人 594		0.09 人 594		0.09 人 594					
	臨時職員（人・千円）		人 0		人 0		人 0					
成果指標	成果指標名				単位		25年度		26年度		27年度	
							目標		実績		（目標）	
	① 戦没者追悼式参加人数				人		140		121		140	
	②											
③												
説明												

事業名	戦没者追悼式	シート作成課	地域福祉課
-----	--------	--------	-------

一次評価者	地域福祉課長	二次評価者	生活福祉部長
-------	--------	-------	--------

評価項目の説明	チェック項目		一次	二次	一次の評価又は説明			
	必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		国・県等においても実施されていますが、本町で開催することで多くの住民とともに戦没者の追悼と恒久平和を祈願することができます。		
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			過去の過ちを繰り返すことなく、恒久平和確立への意識向上を図ることができます。	
	達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				戦没者遺族の方々等と恒久平和への意識を共有させていただいていますが、更に多くの住民の参加を促します。
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
本事務事業の実施適切性の説明								
戦争という過去の過ちを繰り返すことなく、恒久平和を祈願する目的で事業を実施しています。本事業は、今後も必要な事業である。								

一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	4	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	拡大	
今後の改革・改善目標	多くの参加者を確保することにより、戦没者への追悼の思いと平和祈念の理解を深めるため継続が必要です。						

二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	4	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	拡大	
コメント	戦没者等の追悼、遺族の心労、恒久平和を願うため継続が必要。						

二次評価に対する課の考え方							
---------------	--	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する		
------------	------	----	------	---	------------	--	--